

2021年度メディア掲載



<自主事業関連>

- 2021年5月26日(水) ウィンディニュースさんちよ!
出張マザーズコーナー'21
- 2021年5月26日(水) 静岡新聞web
職場復帰や再就職支援 浜松で母親対象
「出張マザーズコーナー」
- 2021年5月27日(木) 中日新聞
育児と仕事 不安解消へ
- 2021年7月15日(木) 中日新聞朝刊
就職考えるママへ 支援サービス紹介
- 2021年10月7日(木) 中日新聞朝刊
仕事と両立向け議論 中区で子育て支援講座
- 2021年10月7日(水) 静岡新聞朝刊
仕事との両立向け議論 浜松・中区で子育て支援講座
- 2021年10月17日(日) 静岡新聞朝刊
支援制度活用上手に
- 2021年11月20日(土) 静岡新聞朝刊
スマホ撮影工夫、PR効果的に 子育て支援団体など研修
- <子育て情報センター指定管理事業関連>
- 2021年5月24日(月) ウィンディニュースさんちよ!
転入ファミリーのための交流会'21
- 2021年5月24日(月) 静岡新聞朝刊
転入家族が交流会
- 2021年5月24日(月) 中日新聞朝刊
浜松の子育て情報交換 転入ファミリーが交流会
- 2021年6月21日(月) 中日新聞
子育てのコツ パパ学ぶ
- 2021年6月23日(水) 静岡新聞
“新米パパ”育児ヒント学ぶ ～交流通じて悩み共有～
- 2021年9月5日(日) 静岡新聞朝刊
子どもの発達「遊びや運動重要」浜松市中区で子育て教室
- 2021年10月4日(月) 中日新聞朝刊
子育てと仕事、両立するには? 浜松で講座

<防災学習センター関連>

- 2021年4月18日(日) 静岡新聞朝刊
被災地支援の課題説く 団体事務局長公園 浜松で防災学習講座
- 2021年4月22日(木) ウィンディニュースさんちよ!
被災地支援 ～被災地の課題を通して支援とは何か～
- 2021年6月15日(火) 静岡新聞
親子で防災楽しく学ぶ
- 2021年6月17日(木) ウィンディニュースさんちよ!
夏フェスタ2021 ～暑さに負けずに防災ワークショップ!～
- 2021年7月1日(木) 静岡新聞朝刊
災害時要配慮者の対応は 避難所運営を議論
- 2021年8月22日(日) 静岡新聞朝刊西部版
要支援者情報の共有を
- 2021年11月23日(火) 中日新聞 朝刊
防災知識広めるプログラム 静大生ら浜松市長に報告
- 2021年11月23日(火) 静岡新聞朝刊
高校生向けに防災講座
- 2021年12月31日(金) 静岡新聞朝刊
ゲームや工作で防災楽しく理解
- 2021年12月28日(火) 中日新聞朝刊
筋交い無いとグラリ 模型の家で親子実感
- 2022年1月22日(土) 静岡新聞朝刊
「ペットと防災」考える 避難所での共存学ぶ
- 2022年2月27日(日) 中日新聞静岡県版
被災者目線 防災を議論
- 2022年2月27日(日) 静岡新聞朝刊
子育て世帯の防災を学ぶ 西日本豪雨体験を共有

私たちの活動を応援してください。

びっぴの活動は、多くの方々の参画・応援により行われています。一緒に、子育てしやすいまちづくりをめざしませんか。



●正会員・賛助会員になる(会費あり)

●サポーター会員になる(無料)

びっぴホームページから入会のお申し込みができます。

●寄付で応援する

びっぴは平成30年1月に「認定NPO法人」の認定を受けました。これにより、寄付して下さる方には個人・法人いずれも税制の優遇があります。詳しくはびっぴ事務局までお問い合わせください。

●協働・コラボレーションする

びっぴ事務局までお気軽にお問い合わせください。

法人サイトQR



私たちは、浜松市および周辺地域の
人々に対する子育てサポートを目的に、
子育て中の親の視点で考え、
子育てしやすいまちづくりを
目指して活動しています。



びっぴについて

認定NPO法人 はままつ子育てネットワーク びっぴ

電話：053-457-3418 FAX：053-457-2901 E-MAIL：pippi@hamamatsu-pippi.net

ホームページ びっぴ法人サイト <https://np0.hamamatsu-pippi.net/>
子育て情報サイト <https://www.hamamatsu-pippi.net/>

びっぴ法人

Facebook
@hamamatsu.pippi



Twitter
@hama_pippi



運営スログ



浜松市子育て情報センター

LINE
@hamamatsu-kjc



浜松市防災学習センター

Facebook
@hamamatsubousai



Twitter
@hamamatsubousai



LINE
@092yslpu



浜松市子育て情報サイトびっぴ

Instagram
@hamamatsupippi



Youtube
チャンネル：Q&Aはますく



さわさわひろば

Instagram
@sawasawahiroba



LINE
@392jodqj



ハッピー子育てライフ ニュースレター Vol.17

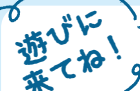
2022年5月27日発行



ぴっぴ NAVI



2021年度は、コロナ禍の中で先行きの見通しの立たない不安を感じている子育て家庭をサポートできるようぴっぴは新たに動き出しました。2021年4月に「浜松市子育て支援ひろば さわさわひろば」を開設し、2021年9月に「ひとり親家庭自立応援事業ぴっぴドリカムプラン」を、防災学習センターでは、2021年●月に新しい事業「浜松市防災ユース・アンバサダー」を開始しました。



子育て支援ひろば



さわさわひろば

さわさわひろばは、3歳以上の親子や小学生も利用できます(小学生は子どもだけで利用可)。ひろばには広沢の常設ひろばと出張ひろば(曳馬協働センターにて開催)があります。

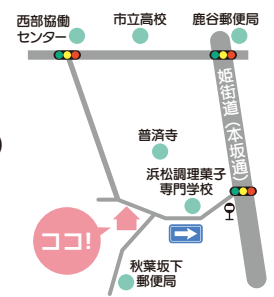


<子育て支援ひろばとは>
子育て支援ひろばは、妊婦さんや子育て中の親子(概ね3歳未満の乳幼児とその保護者)が気軽に集うことのできる市内25か所で開設されている親子の居場所です。職員が常駐し、遊び場や子育て情報の提供をしているほか、育児相談、親子の交流ができます。

楽しい・役に立つ催しがいっぱいの 常設ひろば

【開催日】
月～土曜日
8:30～12:30 / 13:00～17:00
第1・第3日曜日(翌月曜日休み)

【所在地】
浜松市中区広沢3-11-9



妊婦支援 〈第1木曜日・第3土曜日〉

助産師さんの話を聞きます。妊娠中の生活における不安や心配事なども相談できます。



外国人支援 〈第2水曜日・第4土曜日〉

外国語の通訳さんが来ます。外国人の親子に対していち早く日本に慣れるために、日本の風習や生活についてサポートし、日本人親子との交流を促します。



多世代支援 〈第3日曜日〉

祖父母から親子向け、多世代がともに子育てに関して学べる講座やイベントを開催します。



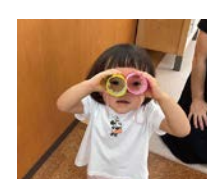
はますくweek 〈毎月第3週目〉

はますくファイルを持ってきてね。ひろばで身長や体重が測れます。



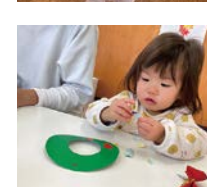
さわちゃんデー 〈第2土曜日〉

幼児も一緒に楽しめそうな季節ごとの工作を行います。



ひろちゃんデー 〈第4月曜日〉

びっぴのYouTubeチャンネル「Q&Aはますく」を参考に、手あそびをします。



利用者の声

- コロナ禍で外出できなかったときに、ひろばが開いていて良かったです。
- 転勤が多くて友だち作りができず、ひろばで子どもや自分の友だちができてうれしかったです。
- 来るまでは敷居が高く感じたけど、使ってみたら子どもが楽しむ様子が見られて、頻繁に利用しています。(利用したパパより)



ホームページ



Instagram
@sawasawahiroba



LINE
@392jodqj

ブックマークと
お友だち登録を
お願いします!



さわちゃん・ひろちゃん



あなたの身近にいるひとり親家庭に ～ひとり親自立応援事業ぴppiドリカムプラン～



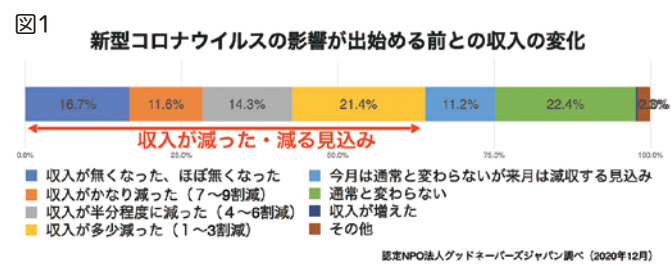
▲事業の詳細
はこちら

事業を行うきっかけ

日頃ぴppiを応援してくれている方から、「コロナ禍でひとり親家庭がさらに苦しい状況に追い込まれているので、ぜひひとり親家庭支援をして欲しい」と、寄付をいただきました。このひとことから、ひとり親家庭がコロナ禍によりどのような影響を受けているのかを調べ、私たちに何ができるのかを考えるきっかけとなりました。

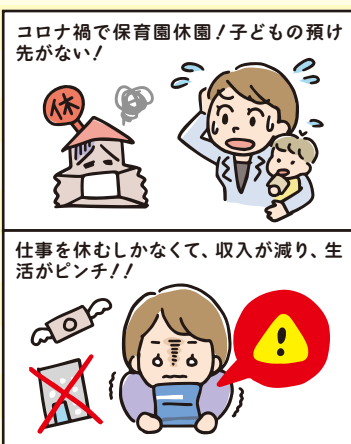
ひとり親家庭を取り巻く状況

そこでひとり親家庭のコロナ禍での状況を調べたところ、ひとり親家庭の6割以上がコロナ禍で収入が減ったという調査結果もありました(図1)。さらにハローワーク浜松マザーズコーナーの職員からも、「ひとり親家庭の人の面接時の急な子どもの預け先に困っている」という状況を聞きました。



ひとり親家庭の抱える課題

パートやアルバイトで収入を得ているひとり親家庭が、コロナ禍により保育園休園となった時に、子どもを預けられないことを理由に仕事も収入も減りました。場合によっては仕事を失った人もいますが、社会で問題にもなりました。自立した生活をしようとひとりで奮闘しているひとり親にとって、誰かの助けが必要で



また、スマートフォン所有が1人1台の時代になり、情報はインターネットで収集することが当たり前の時代になりました。全てのひとり親家庭ではWi-Fi環境が整っているとは限りません。つまりひとり親家庭に向けたインターネットに頼らない情報提供の必要性があります。



2つの事業の柱

保育クーポンを配布し、ひとり親のリフレッシュや就労支援

2021年度はモデルケースとして、中区限定で開始しました。2022年度からは、浜松市内全域に範囲を拡め実施しています。



生活便利帳『ひとり親LIFE』を作成し、ひとり親家庭のための情報提供

この冊子は、子ども食堂・学習支援施設など、ひとり親家庭を日頃支援している施設等にて無料で配布しています。



保育クーポン利用者の声

- ★コロナ禍で保育園が休園した時にすごく助かりました。
- ★クーポンがあったので初めてシッターを利用でき、子どもを預ける不安がなくなりました。
- ★子どもは自分(母)と遊びたがるので、今度は家事支援のクーポンがあるといいな。

あなたの身近にいるひとり親家庭の方に、 ドリカムプランを伝えてください。

子どもの預け先に困っているひとり親家庭や、子育ての手が足りずひとりで子育てに奮闘し疲れてしまっているひとり親の人、さまざまな子育て支援情報を知らずに困り果てている人がいたら、ドリカムプラン事務局に相談するよう伝えてください。

ドリカムプラン事務局

電話: 053-457-3418 (受付: 月～土曜日 9:00～17:00)
E-Mail: pippi@hamamatsu-pippi.net



ひとり親家庭支援のための寄付を募集しています! ～3,000円で子ども1人約2時間の預かりができます～

ドリカムプランを継続していくために、みなさんのご寄付をお願いします。浜松市では、子ども7人に1人は貧困であるといわれています。ワンオペで子育ての手が足りず、コロナ禍で生活がますます苦しくなっているひとり親家庭を支援するために使わせていただきます。みなさんからのご厚意により、生活便利帳や保育クーポンを発行し、より多くのひとり親家庭に提供していきます。



「認定NPO法人」への寄付をしてくださる方には
税制の優遇が定められています。
◀詳細はこちら



■寄付の方法

現金／銀行振り込み／郵便振替などで寄付ができます。

詳細はこちら▶



浜松市防災ユース・アンバサダープログラム 実施



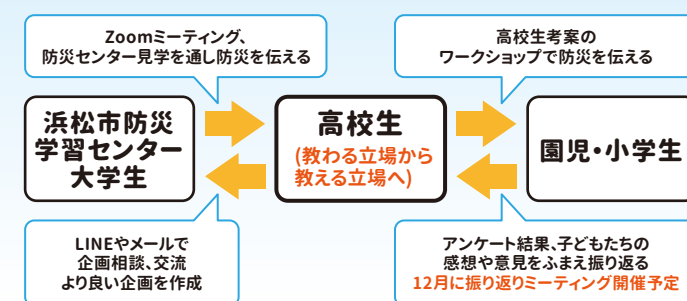
この事業のきっかけ

浜松市防災学習センターの新しいプロジェクトとして、次世代の担い手育成事業を検討した際に、静岡大学教育学部藤井研究室が県中部・東部で行っていた取り組みを、藤井研究室協力の下、浜松市バージョンとして新たに始動させました。

事業内容

大学生や防災学習センタースタッフから高校生が防災を学び、自ら防災ワークショップ「防災×遊び」プログラムを企画し、小学生や未就学児ら下の世代に防災を伝えるというものです。市内の高校生(2021年度はモデルケースとして江之島高校・浜松学芸高校)を対象としているプログラムです。

本プログラムを通して広がる防災



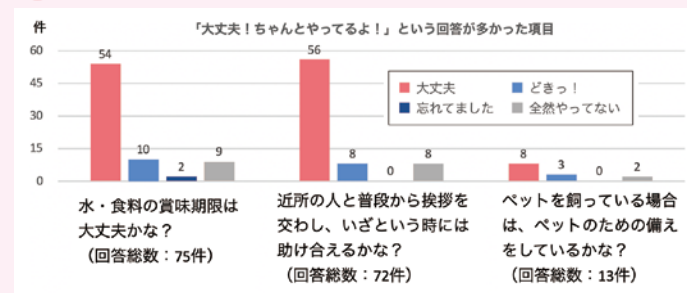
2021年度の『忘れない3・11』企画で わがった!みんなの災害への備え



詳細は
こちらから▶



「水・食料」「近助」「ペット」の備えはできている!!



これは、ぴppiが毎年3月11日前後に行っている防災企画「私たちは忘れない3・11」で、子育てファミリーに向けて災害への備えについて、各自の現状を回答してもらった結果です。意外だったのが、近所の人との普段からのかかわりができていて、いざとなったら助け合いができると答えた人が多かったことです。とても心強いですね。反対に、不安を感じるのが、地域の災害リスクを知らないことや子どもたちへの防災教育ができていないという回答。

<参考>『子育てファミリーの備えチェック10』

- 1 水・食料の賞味期限は大丈夫かな?
- 2 家具の固定・すべり止め・ガラスの飛散防止などを行っているかな?
- 3 子どもの成長に合わせた非常用持ち出し品を用意しているかな?
- 4 いざという時のトイレの確保ができていないかな?
- 5 安否確認の方法を、家族と話し合っているかな?
- 6 子どもの年齢に合わせて、防災教育しているかな?
- 7 家や園・学校・職場の周辺の避難経路を確認しているかな?
- 8 昔からの言い伝えから、町の災害のリスクを知っているかな?
- 9 近所の人と普段から挨拶を交わし、いざという時には助け合えるかな?
- 10 ペットを飼っている場合は、ペットのための備えをしているかな?



■参加方法…現在の自分の状況や気持ちにあった色のシールを貼ってもらう。

- :大丈夫!ちゃんとやってるよ!
- :どきっ!帰ったらすぐやりま!
- :どうしよう!忘れていました!
- :やばい!全然やってない!
- :自分の気持ちを書いてね。

実践

浜松市防災学習センター主催事業「はま防～家 秋の防災教室in2021」にて、10/31(日)浜松学芸高校、11/7(日)江之島高校の生徒が、小学生や幼児とその親に向けて防災教室を実施しました。浜松学芸高校ではオープンスクールで防災を学ぶブースを開くなど、プログラム受講により高校生の防災意識が向上!!



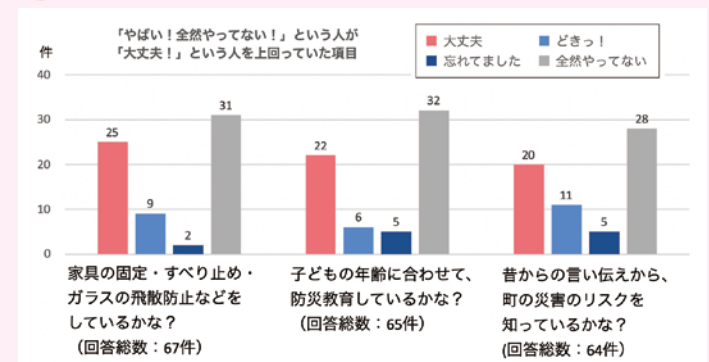
参加した子どもや先生の声

「防災を学ぶだけでなく、子ども達に防災を教える側になったのはとても良い経験になった。今回の経験は、今後の社会生活で役立つと思う。」(当時高校3年生女子、現社会人)
「子ども達の成長する姿を見られたので、このプログラムに参加して良かった。来年度以降も持続可能な取り組みとして、継続して欲しい」(先生)

浜松市長訪問をした時の様子はこちら▶
2022年度は浜松市の事業として継続し、
その様子もこちらに掲載します。



「家具の固定」「防災教育」「災害リスク」の不安がある



今からでも間に合う!
できることから始めよう!



防災教育するなら…



浜松市防災学習センター

いざという時に役立つ講座
やイベントがたくさん!

ぼうさいぴppi

子どもや女性の視点を取り
入れた出張防災講座



災害リスクを知るなら…

浜松市
ハザードマップ

目安だということを忘れずに!

